

大学院について 修士課程までの6年一貫プログラム

学群の専攻が大学院のコースと直結！

環境理工学群の4専攻は大学院修士課程のコースへと直結しており、大学院では、学群の専攻から一貫したカリキュラムのもとで、さらに高度な専門教育を受けることができます。

▶ 大学院での学びをサポートする制度

■ 修士課程就学支援制度

経済的理由により授業料の納付が困難である者を対象に、**授業料年額の全額もしくは半額を免除**します。別に定める家計基準を満たし、大学院修士課程に入学すれば、**原則全員が半額免除以上の対象**となります。



■ ティーチング・アシスタント (TA) 制度

TAとは修士課程の学生が、学士課程の講義や演習、実験・実習等の補助に従事することを言います。給与を支給されながら、TAとしての経験を通じて自らの教育力を高め、学びを深めることができます。



才能をさらに伸ばすための特別支援制度 アドバンスプログラム

センター試験で得点率基準をクリアすれば、特待生となりアドバンスプログラムに参加することができます。
(入学後の成績に応じて、プログラムに参加することも可能)
このプログラムでは、対象の学生に対して多くの優遇が与えられ、優れた資質をさらに伸ばせるように支援しています。



取得可能な資格・免許

- 甲種危険物取扱者 受験資格
- 高等学校教諭一種免許状〈理科・数学・工業〉
- 中学校教諭一種免許状〈理科・数学〉
★大学院進学により専修免許も取得可能！
- 学芸員資格

先輩voice



大学院に進学

データ解析で地球環境に迫る！

佐井 彩乃 さん

大学院修士課程 環境数理コース 2019.4 入学
所属研究室：気水圏動態研究室（端野研究室）
環境理工学群 分子デザイン専攻 卒業

学部では化学、生物、物理など様々な分野について学び、幅広い知識を身に付けることを意識していました。また、小さい頃から地球上で起こる自然現象に興味があり、その中でも生活に最も身近な気象について深く知りたいと思い、環境数理系の研究室に所属しました。膨大なデータをプログラミングを使って解析し、大気中での現象と環境問題を関連させた研究を行っています。大学院では自分が本当にしたいことを見極め、専門分野をより深めることを目標にしています。



企業に就職

材料科学の最前線で働く！

林 哲士 さん

現在の勤務先：東京製鋼株式会社
環境理工学群 ナノ・物質科学専攻 卒業
大学院修士課程 物質生命システム工学コース 2018.3 修了

私は、歴史の長い鋼鉄ワイヤー製造会社に、技術職として就職しました。在学時に学んだ鉄鋼の知識を活かすべく志望したのですが、入社後の研修や業務を通じ、化学や統計学などの知識も身に付けました。仕事ではこれらの知識を活用し、先輩からのアドバイスに助けられつつ、製造工程の問題点調査や改善を行っています。具体的な業務には実験の計画・進行・報告、製造実績の集計などがあります。また職場の人達は、仕事関係だけでなくプライベートな相談にも親身になって下さるような優しい方々ばかりです。このように成長の機会や人の縁などに恵まれた環境で仕事ができることを嬉しく思っています。

高知県公立大学法人 高知工科大学

環境理工学群

〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口 185
TEL 0887-53-1050 FAX 0887-57-2520
E-mail webscsci@kochi-tech.ac.jp

📖 環境理工学群ホームページはこちら！

<http://www.scsci.kochi-tech.ac.jp/>

📘 Facebookページもチェック！ [fb.com/kut.kankyoriko](https://www.facebook.com/kut.kankyoriko)



高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

<https://www.kochi-tech.ac.jp/>



高知工科大学
KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

環境理工学群

School of Environmental Science and Engineering

環境数理 専攻

化学 専攻

生命科学 専攻

マテリアル工学 専攻



「地球に優しい」理工学の基礎と 応用技術を追求し、新領域の開拓を図る

学びの Point 1

「理と工の相乗効果」で総合力を身に付ける

数学的手法や実験的手法、データ解析などを用いて自然界の根源を探る「理学 (Science)」と、世界の合理的理解に基づいて人や社会の役に立つ技術を開発する「工学 (Engineering)」。環境理工学群では、理学による深化と工学による進化の両方を分野横断的に学ぶことで、理学的知識と工学的センスを兼ね備えた「総合力のある人材」が育つことを目指しています。

社会が求める技術者・研究者・教育者を育成する 4つの専攻



データサイエンスを活用し、グローバルに活躍する文理融合型の人材を目指す

環境数理 専攻 Environmental and Mathematical Sciences

自然科学と環境学の幅広い知識とデータサイエンスのスキルを基本に、様々な分野において、地球と地域で活躍する上で必要な能力を涵養します。



自然科学および環境学の幅広い知識とデータサイエンスのスキルを身に付け、持続可能な社会づくりに向けて幅広い分野でグローバルに活躍できる人材となることを目指します。大学院では、さらに専門性の高い分析力とデザイン力を養い、公的機関の専門職や、民間企業の企画・開発業務、マネジメント業務のスペシャリストとしての活躍が期待されます。



ナノサイズの分子を設計・組み立て・評価し、“ものづくり”の原点を学ぶ

化学 専攻 Chemistry

無機化学、物理化学、有機化学、高分子化学などの広い知識をベースに、機能性物質や環境に負荷をかけない合成プロセスを開発します。



講義や実験科目などで得た知識をもとに、事象を化学の視点で眺めることを学びます。また、議論を重ねながら実験を行うことによって“ものづくり”の醍醐味を味わい、多様な視点から事象を捉える力を養います。さらに大学院での研究活動を通し、世界に通用する高い研究力を身に付けます。研究者・技術者・教育者など、化学業界に限らず様々な分野で活躍できる人材として育つことを目指します。



生化学・遺伝子工学・細胞工学で生命のメカニズムに切り込み応用する

生命科学 専攻 Life Sciences and Technology

分子生物学を基本として、細胞内で起こっている代謝反応や発生プロセスを分子のレベルで理解し、その応用としての医薬品やバイオ関連製品を開発します。



ゲノム情報の解読、遺伝子導入や遺伝子破壊、酵素特性の解析や改変、生きた細胞の蛍光観察など、生命科学の先端手法を学びます。医薬品・食品や環境浄化・保全などに関連する幅広い分野に対応できる力が身に付きます。さらに、生命科学の知識と化学専攻や環境数理専攻などで提供される科目を学習し、大学院に進学して研究力を身に付けることで、企業の研究開発部門で活躍できると期待されます。



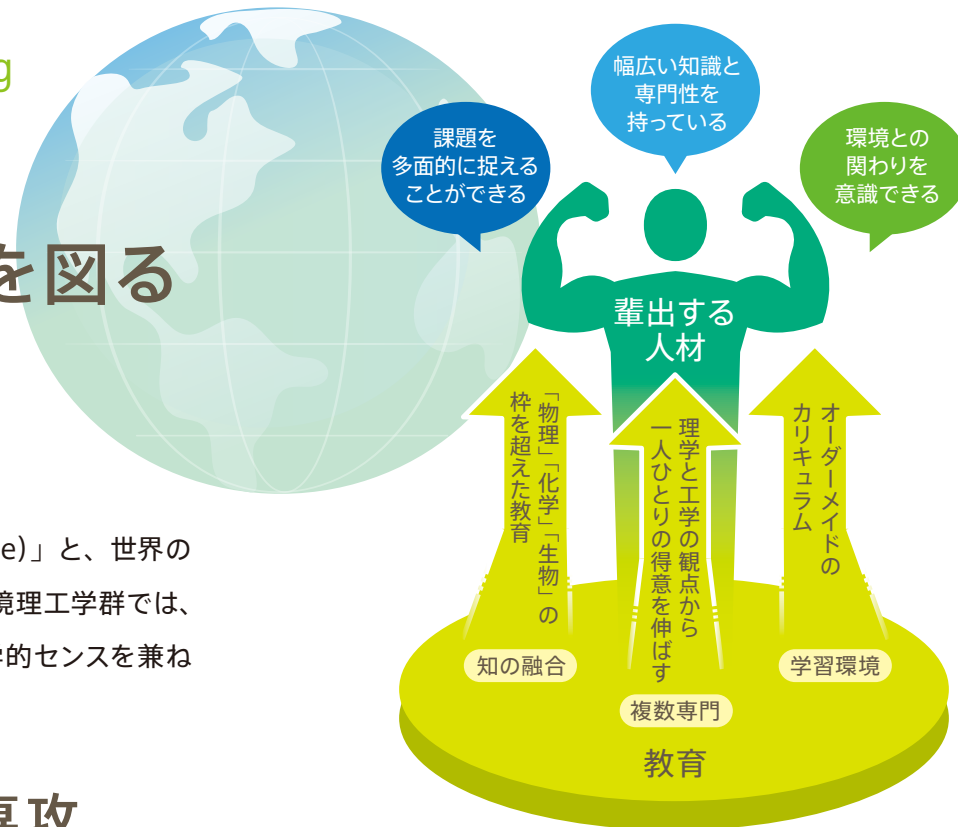
ナノ・ミクロ・マクロの領域から新材料開発に取り組む

マテリアル工学 専攻 Materials Science and Engineering

材料科学を数学、物理学、化学、生物学などの幅広い自然科学の素養に基づいて学び、これまでにない機能を発現する材料の開発に新奇な発想で挑みます。



自然科学の幅広い知識をもとに材料科学の素養を身に付け、卒業研究を通じて物質・材料を扱うスキル一すなわち合成、特性付与、構造・物性の評価といった高度で実践的な技術を習得します。製造業を中心とした様々な業界の企画開発、製造、営業部門などでの活躍が期待されます。大学院での学びを通して獲得する深化した専門性と研究力を武器に、さらに先端的な研究開発への道が開けています。



学びの Point 2

主専攻＋副専攻

「2つの武器」で未来を拓く



融合化・学際化が進む現代の理工学では、複数分野の専門知識に基づいた応用力が不可欠です。環境理工学群では、4つの専攻から自由に「主専攻」と「副専攻」を選んで、2本立てで学べる体制を整えています。これからの学問分野の発展や社会のニーズの変化に即した「2つの武器」を持つことにより、卒業後の可能性は大きく広がります。

